

2020年～2021年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリーは機会の扉を開く

2020～21年度 国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク 氏




土浦ミュージアムコレクション No.23
濱野政随作 鐺「寿老人図」(江戸時代中期)

寿老人は中国宋代の人とされ、長い髭に杖を携え、鹿を連れてきます。日本では七福神の一人です。寿老人の傍には松の枝と鶴亀、裏面には鶴があしらわれています。いずれも長寿を象徴です。
(土浦市立博物館所蔵)

1月は職業奉仕月間です。

2020～2021年度(第63期 飯山年度)

1月第1例会プログラム

- 点 鐘
- 国歌斉唱
- ロータリーソング
- ビジター紹介
- 会長挨拶
- 幹事報告・委員会報告
- 入会式

- 乾 杯
- 誕生祝・結婚記念祝・入会記念祝
- 丑年会員お祝い
- 「ロータリーの友」紹介
- にこにこBOX報告
- 出席報告
- 点 鐘
- ロータリーソング

1月7日(第3040回)

VOL. 20

会 長
奉仕の理想
親睦活動委員会

大塚芳行君
古徳尚子君
田邊拓士君

新睦活動委員会
親睦活動委員会
公共イメージ委員会
S.A.A
出席委員会
会 長
我等の生業

本年もよろしくお願ひいたします

謹賀新年



RI(国際ロータリー)の創立:1905(明治38) 日本のロータリー創立:1920(大正9)

RI第2820地区 茨城県

RI(国際ロータリー)承認 日本国内247番
創 立 1958年2月14日(昭和33年)
承 認 1958年3月 7日(昭和33年)
事務局:土浦市中央2-16-9(常陽銀行4F)

土浦ロータリークラブ

姉妹クラブ RI第3520地区 台北陽明扶輪社
会長 飯山 孝之 幹事 關本 淳一

URL <http://www.tsuchiura-rc.org> E-mail office@tsuchiura-rc.org

例会場:L'AUBE Kasumigaura 毎週木曜日 12:30~13:30

会長挨拶

飯山 孝之会長

令和2年も残すところ1週間余りとなりました。63期もマラソンで言う折り返し地点を迎える時期となりました。

先月5日には、池田ガバナー公式訪問があり、ガバナーからの総評では土浦クラブ63年の歴史と伝統あるクラブ運営や活動について好評をいただき無事終了することができました。

会員の皆様には大変ご協力をいただき、改めて感謝申し上げます。

さて、12月師走も中ばを過ぎ、会員の皆様には大変お忙しい時期になってまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の「第3波」が拡大する中、本市でも、不要不急の外出は自粛するよう県知事から要請があり、当クラブにおいても、12月例会を3週に渡り休会とし21日から解除となりましたので、第4週の今日から、会食せず例会を開催することになりました。



会員の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症には充分留意されますよう、お願いいたします。

今年も残りわずかととなり、後数日で大晦日となりますが、大晦日には伝統行事でもある除夜の鐘が撞れます。その除夜の鐘についてふれてみたいと思います。

この除夜の鐘の起源は中国宋の時代、960年頃に始まり、日本では鎌倉時代に伝来し近世になって広まったと言われている。

除夜の鐘は百八回撞かれます。この百八回という数字の由来は、皆さんもご承知の通り百八煩惱から来ていると言われている。

この煩惱を打ち払うことを願って百八回鐘を撞くわけですが、さてこの百八という数字は、どこから来ているのでしょうか？

諸説はいろいろありますが、一般的に分かりやすいのが1年を「四苦八苦」で暮らすと言われている。

「四苦」とは「生・老・病・死」の4つで、生まれて生きてゆく苦しみ、老いる苦しみ、病む苦しみ、最後に死ぬ苦しみ、それともう4つの苦は「愛別離苦」愛するものと必ず別れなければならない苦「怨憎会苦」この世で怨み憎しむものと会わなければならない苦、「求不得苦」求めても求めても得られない苦「五蘊盛苦」自分自身が生きているだけで苦しみが次から次へと湧き上がってくる苦で4つの苦4×9=36、もう4つの苦を加えて8苦8×9=72、合わせて108になります。

これらの「四苦八苦」を背負って私達は生きていると言われている。今年も残すところ1週間となり、令和3年という新しい年を迎えます。大晦日には除夜の鐘を聞き、この話しを思い出しながら、この1年を振り返り百八煩惱を払い新しい良い年を迎えたいものです。

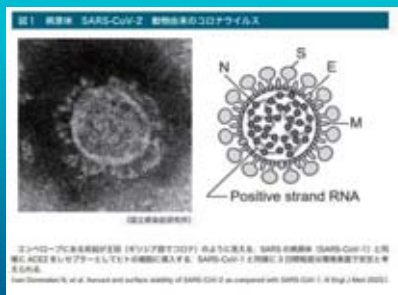
63期も残り半年です。皆さんのご指導ご協力をいただきながら鬼滅の刃ではないですが「全集中」でゴール目指したいと存じますので、今後下半期もよろしくお願い申し上げます。

ミニ卓話「土浦のコロナ事情」

鈴木 敏之会員

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)

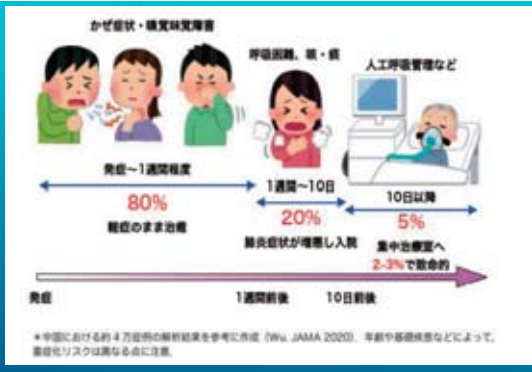
現状と土浦地域での取り組み
2020年12月24日



	COVID-19 新型コロナウイルス感染症	SARS 重症急性呼吸器症候群	MERS 中東呼吸器症候群	季節性インフルエンザ 季節性インフルエンザ
流行の発生	2019年12月～現在	2002年～2003年	2012年～現在	毎年、冬季に流行
感染人数	世界で5125万人*	世界で8098人	世界で2542人*	国内で毎年約1300万人
死者数	世界で127万人*	世界で774人	世界で681人*	世界で年間25～50万人
病原体	コロナウイルス (SARS-CoV-2)	コロナウイルス (SARS-CoV)	コロナウイルス (MERS-CoV)	インフルエンザウイルス (A型およびB型)
ウイルスの転送	コウモリと関わっている	コウモリ	ヒトコブタダ	鳥など
潜伏期間	5日前後(最大14日程度)	2～7日	5日前後(2～14日)	1～3日
感染再生産数 (1人の感染者が感染させた人数)	1.4～2.5人程度	2～5人程度	1人程度	2～3人程度
死亡率	2.5% (世界)*	9.6% (世界)	34.4% (世界)*	0.1%以下 (国内)



臨床経過



3 重症化のリスク因子

表 2-1 重症化のリスク因子

重症化のリスク因子	重症化のリスク因子かは知見が揃っていないが要注意な基礎疾患等
<ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上の高齢者 ・慢性閉塞性肺疾患 (COPD) ・慢性腎臓病 ・糖尿病 ・高血圧 ・心血管疾患 ・肥満 (BMI 30以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物学的製剤の使用 ・臓器移植後やその他の免疫不全 ・HIV 感染症 (特に CD4 <200 /L) ・喫煙歴 ・妊婦 ・悪性腫瘍



土浦市でのクラスター発生

資料提供
土浦市桜町1丁目・2丁目の飲食店への集中検査の実施

土浦市桜町の「接待を伴う飲食店」において、クラスター発生店舗を含めて10名程度の陽性を確認

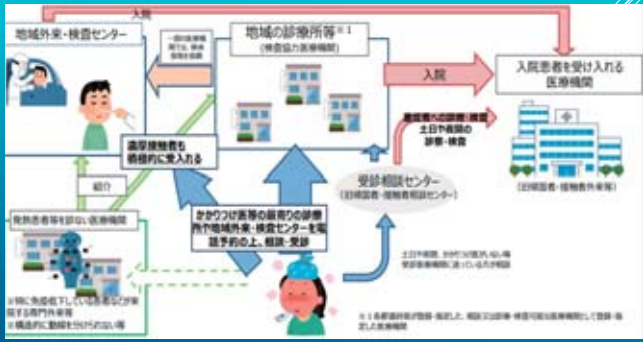
※クラスター発生の店舗名：パブHEAT (土浦市桜町1丁目)
パブHEAT II (土浦市桜町1丁目)

複数店舗の従業員・利用者の陽性を確認したことから、市中感染に繋がっており、地域への感染拡大を防ぐため集中検査を実施!

11月13日 (金) から開始!

【対象者】
土浦市桜町1丁目・2丁目に所在する飲食店の関係者で、以下に該当する方
①従業員で、検査を希望する方
②10/26～11/10の利用客で、検査を希望する方

今後の診療体制



土浦市医師会PCR検査センター 運営状況

	8月	9月	10月	11月	12月	合計
検査人数 (陽性者数)	126	102	120	106	59	513
土浦市検査数 (陽性者数)	90	78	78	82	36	364
石岡市	7	4	9	2	1	23
かすみがうら市	20	8	20	12	12	72
その他の市町村	9	12	13	10	10	54

感染リスクが高まる「5つの場面」

感染リスクが高まる「5つの場面」

- 飲食を伴う集まり
- 大人数や長時間におよぶ飲食
- マスクなしでの会話
- 新しい空間での共同生活
- 施設での切り替わり

新型コロナワクチン

	ファイザー社	アストラゼネカ社	モデルナ社 (武田)
接種回数	2回 (21日間隔)	2回 (28日間隔)	2回 (28日間隔)
保管温度	-75℃±15℃	2～8℃	-20℃±5℃
最小流通単位	195バイアル (975回接種分)	10バイアル (100回接種分)	10バイアル (100回接種分)
接種体制	I型 (最小流通単位が大きく、ドライアイスで保存できる期間に制約があるため、短期間に多くの人に接種できる体制が必要)	II型 (1バイアルの接種回数が多いため、接種する日には多くの人に接種が必要)	大きいことから、ワクチン、接種する日には多くの人に接種が必要)

土浦市新型コロナウィルス検査費用助成制度

対象 無症状であり
・65歳以上の高齢者 または
・基礎疾患のある方
(糖尿病、高血圧、肥満、慢性腎臓病、慢性閉塞性肺疾患、心血管疾患)

検査法 PCR検査 (自己負担 3,000円)
抗原検査 (自己負担 2,000円)

2021年3月31日まで1人1回
希望者は土浦市保健センターへ電話し受診券をもらう

台湾



力を合わせて伝染病を防ぎ、ウィルスに勝利しよう

令和2年12月24日(木) 13:30 ~ 於 ロープかすみがうら

審議事項

1. 第63期 SAA委員長 選任の件
→SAAとして 鈴木敏之 会員を選任した。
2. 提案 (土浦ロータリー・クラブ定款・細則・諸規定 について検討)
コロナ禍の中、クラブ運営に必要な持ち回り書類などを 電子媒体での承認できるようにする。
→今後の議題にのせて話し合う。
3. その他
事前理事会の案内や出欠の可否などにライングループを作成して活用する。

前期事業報告

飯山 孝之 会長

令和2年の62期下半期、63期上半期は新型コロナウイルス感染症が拡大し、緊急事態宣言や外出自粛などで、例会を休会にせざる得ない状況でありました。

令和2年はコロナに始まり、コロナで終わってしまったようです。各委員会ともコロナ禍での事業が思うように展開できず、大変な1年だったと思います。

これからも、新型コロナウイルス感染症の収束は困難であると思います。例会や、諸事業につきましては、無理せず、できるものから実施して行ければ良いと思います。

これからも理事を始め役員、各委員長や会員の皆様のご協力をいただきながら残り半年64期に繋ぐべく全集中でゴールを目指したいと思います。

高田 知己 職業奉仕委員長

新型コロナウイルスの影響により、従前活動してきた、土浦健康まつり自体が中止となり、これに参加することができなかった。

いわゆるコロナ禍の中、例会の中止などもあり、活動がしにくい状況にあります。職業奉仕月間である1月に、職業奉仕に関する卓話を計画する。新型コロナウイルスが沈静化することを期待して5月、6月ころをめどに職場訪問の企画を考える。などを今後検討したい。

小倉 史義 社会奉仕委員長

新型コロナウイルスにより例会の休会、地域各種イベントの中止が相次いでいる状況ですが、上期は「土浦市立博物館への電子案内板寄贈」と児童養護施設「茨城県道心園」へ助成金50,000円を寄贈致しました。

下期は、内外情勢をよく見極めたうえで下期予定の事業計画実施の実現、推進を図っていく考えです。

金澤 幸江 青少年奉仕委員長

1) 新たに4名の会員で再始動

第1回例会：10月28日 ZOOM併用で開催

今年度のテーマ：国際交流・異文化交流」となった

土浦RCの奉仕活動にも参加すること確認

第2回例会：11月14日18時より

一中公民館にて「ベトナム料理を作って食べよう、ベトナムのことを知ろう」

2) ライラ研修会がリモートで開催された

3) 県立医療大学・つくば国際大学へアクトについての情報提供と勧誘を行なった。県立医療大学学長が11月26日に卓話で土浦RCに参加、つくば国際大学学部長からアクトについて検討するとの回答あり

次世代を担うローターアクトクラブの活性化を支援したいと考え、ローターアクトクラブの会員増強と、近隣の大学生へのアプローチを検討して参りました。多くの会員のご協力によりローターアクトクラブを再開することができました。今後はこれを維持・発展させることを考えたいと思います。

藤澤 昭彦 国際奉仕委員長

1. 台北陽明RCの事業日程が世界大会の日程に合わせ変更となり、現状ではコロナ拡大の最中におりますので企画・参加者募集に至っておりません。

2. 地区の「この指とまれ事業」に対する支援を行うべく理事会にお諮りし二つの事業に支援する決議を頂きました。

3. 訪問日程が延期となり、現状では活発に情報交換を行っているとは言えません。

想像以上にコロナウイルスの猛威が大きく、航空機の稼働が落ち、人々の移動が減少し、さらには都市内においても人々が集い、相談し、会食するといった機会までも消滅しつつあります。このような情勢下に置きましては国際的な奉仕活動も難しい局面の中にありますが2021年には情勢が変わってきますことを祈念しつつ前向きな活動をしていければと考えております。

河合 隆 ロータリー財団委員長

- 1) 11月ロータリー財団月間での例会を担当した。
*11月19日地区より平島隆之会員（土浦RC会員）が講師として派遣された。
- 2) 財団月間には、例会場入り口に、寄付金コーナーを設置し、全クラブ会員に直接声掛けをした。
*本年は、11月12日、19日、26日の例会に財団寄付を募った。
11月末日で、募金総額9,778ドル。日本円1,016,912円。
ベネファクター（恒久基金寄付1,000ドル）を1名達成した。
- 3) 地区補助金申請の支援協力。
*社会奉仕委員会の事業に使用するため申請をしたところ、本年度14万円の補助金を頂戴した。
- 4) ポリオ撲滅のために募金・PR活動を支援する。
*11月3日、社会奉仕委員会の財団補助金を受けた電子案内板贈呈式に合わせて土浦市博物館にて、一般市民に対しポリオのPR及び寄付金の募金活動を行った。
会員55名中38名の会員が募金に応じてくれたが、69%であるので、今後も粘り強く声をかけてゆきたい。

大場 傳美 米山記念奨学委員長

1. 10月米山月間に、米山奨学生ゴン・インテインさんに卓話をさせていただきました。
* 私の ・研究テーマ ・基本的な情報 ・これまでの生活から得たもの ・卒業した後の進路 という内容でした。
* 茨城大学では「不耕起とカバークロップのシステム」の研究をしています。
* 11月3日（祝）土浦市立博物館において「ポリオ根絶募金活動」に参加。
2. 寄付金の状況（12月3日現在）
* 個人特別寄付 37名×30,000= 1,110,000
3名×100,000= 300,000
* 法人特別寄付 8社×30,000= 240,000
* 普通寄付（上期@2,500×55名） 137,500
* クラブ寄付 300,000
寄付合計 2,087,500 目標額 2,380,000

米山功労クラブの
感謝状が届きました。



沼田 真一 SAA

例会は、会長、幹事をはじめとして、各委員会と連携を図り、会員の協力を仰ぎながら進行している。ニコニコボックスは年間目標額を210万円と設定し、11/26時点で累計1,161,000円なので、半期としては目標をクリアしているが、今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては目標達成が厳しくなると、憂慮している。
外部の方の卓話の時、時間の都合でニコニコボックスの報告を省略した時がありましたが、卓話に対するお礼の意味のニコニコもあるので、多少時間が延びてもやるべきではないかとの指摘を受けました。時間を気にするあまりそうした配慮が足りなかったと深く反省をいたしました。
今後もお気付きの点があったら、ご指摘いただき改善して、より良い例会運営につなげていきたい。

吉田 明浩 会計

1. 事務局、各会員のご協力により厳正かつ効率的な予算執行に努めております。
2. 今後も円滑なクラブ運営に貢献すべく、後期の活動を行なってまいります。

新会員紹介

氏名 大塚 芳行 君
事業所名 (有)大塚ゴム工業所
役職 代表取締役
事業所住所 〒300-0048
土浦市田中3-8-39
推薦者 臼田恭士、福田将典
職業分類 タイヤ販売
ロータリー歴 なし
委員会 親睦活動

氏名 古徳 尚子 君
事業所名 礎法律事務所
役職 弁護士
生年日
事業所住所 〒300-0044
土浦市大手町4-17
推薦者 鈴木實、飯山孝之介
職業分類 護士
ロータリー歴 なし
委員会 出席

氏名 田邊 拓士 君
事業所名 株式会社フィット
役職 代表取締役
事業所住所 〒300-0034
土浦市港町1-8-26
ホテルフィット
推薦者 竹内崇、佐藤ぱうろ
職業分類 ホテル
ロータリー歴 なし
委員会 出席

丑年会員紹介



鶴田 一郎君

渡邊 俊樹君

石塚 ひろみ君

廣瀬 太君

にこにこBOX

12/24 計84,000円 累計1,245,000円

出席報告

会員	欠席	出席	免除・欠席	出席率
55名	23名	32名	4名	62.74

誕生祝 (12月)



入会記念祝 (12月)



結婚記念祝 (12月)



例会予告

14日 新会員卓話 橋本 祐一 会員
21日 職業奉仕について 職業奉仕委員会

1月のロータリーレートは104円です。